

2022年度グローバルPBL(受入)実施報告

社会課題解決型PBL					
実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2022年09月18日 ~2022年09月25日	日本			子生20名、子生ハイト3名、 教員4名 (パンドンエ科大学)	小山 友介(環境システム学 科)、市川 学(環境システム学 科)、後藤 裕介(電子情報シ ステム学科)

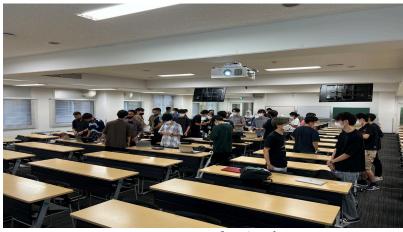


図1 アイスブレイキング

芝浦工業大学大宮キャンパスにて、ITB(Instituteknologi Bandung)とともにgPBLを実施した。インドネシアの学生19名、日本の学生23名、計42名が 参加した。本プログラムは、日本とインドネシアで展開するベンチャー企業をテーマに「システム思考」「デザイン思考」を用いて、新たなビジネスの創出を目的とした。手順としては、テーマ設定、目的展開、ステークホルダーマップを用いたニーズ分析、機能設計、評価軸の設定を踏まえて、ビジネス モデルの仕様を決めた。仕様をもとに代替案考案をした上で、成果物としてビジネスモデルを作成した。最終発表では、互いのビジネスモデルに投資をするという視点で評価を行い、客観的視点と実現可能性の高いビジネスプランの提案が可能となった。







図3 思考



図4 集合写真